

物価高騰続く中、「おせちは節約しない」が7割超

松屋銀座「2027年お正月の過ごし方・おせちに関する意識調査」

松屋銀座では、メールマガジン会員にお正月の過ごし方・おせちに関するアンケート調査を実施いたしました。

【調査概要】 調査対象: 松屋銀座メールマガジン会員 調査期間: 2026年8月17日(月)～8月20日(木) 調査方法: ウェブアンケート調査
有効回答数: 1380名(20歳～85歳 平均年齢: 58.1歳)

Q1.お正月の過ごし方について

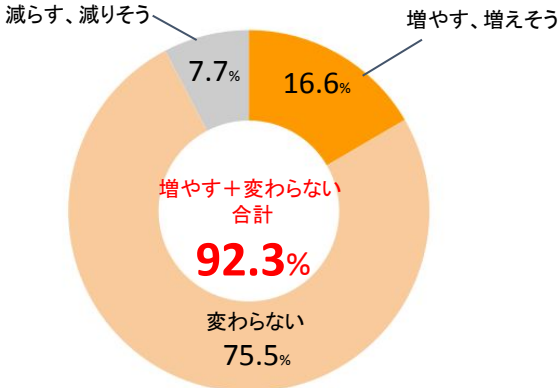
	今年(2026年)	来年(2027年)
自宅で過ごす	64.1%	66.7%
実家や親戚宅などで、 集まって過ごす	23.5%	22.8%
国内旅行	4.2%	4.7%
海外旅行	2.1%	1.7%
仕事	2.4%	2.3%
その他	3.7%	1.7%

来年(2027年)のお正月は「自宅で過ごす」と回答した人は約7割で、今年(2026年)に比べると2.6%の微増。自宅や親戚宅の「家で過ごす」割合は、約9割を占めており、巣ごもり傾向が伺える。

Q2.おせちの購入について

	今年(2026年)	来年(2027年)
購入	40.6%	42.2%
一部購入、一部手作り	36.9%	37.3%
家庭で作る、手作り	6.8%	5.1%
ホテルや旅館、レストラン、料亭などでおせちを食べる(外食)	2.8%	3.7%
おせちは食べない	9.5%	9.5%
その他	3.4%	2.2%

Q3.おせちの予算は、今年(2026年)と比べどうか？

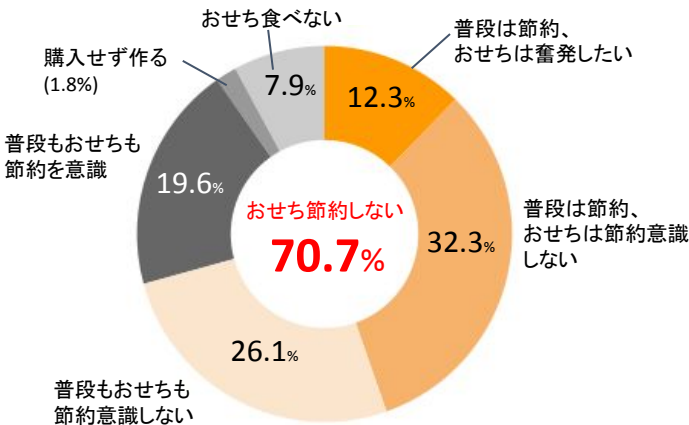


Q4.来年(2027年)のおせちにかかる予算

	今年(2026年)	来年(2027年)
平均	22,049円	24,204円
最高金額	100万円	30万円

+2,155円

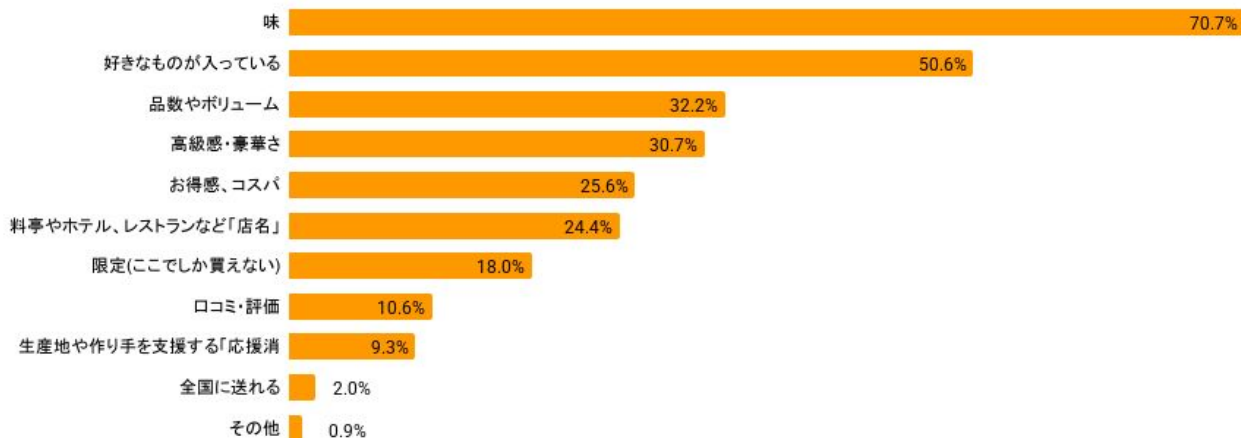
Q5.来年(2027年)のおせちへの節約意識について



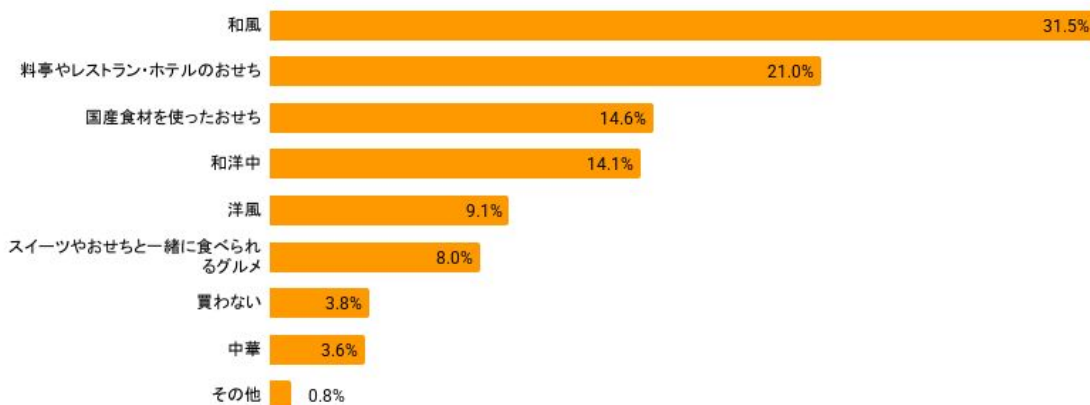
物価高騰が続いている中、全体の約7割超はおせちでの節約は意識しないと回答。さらにそのうちの12.3%は、「おせちは奮発する」と回答した。ハレの日だからこそ「おせちは豪華なものが食べたい」というメリハリ消費が伺える。

来年(2027年)のおせちにかかる予算に関して、平均額は今年よりも2,155円増加し「24,204円」との結果だった。

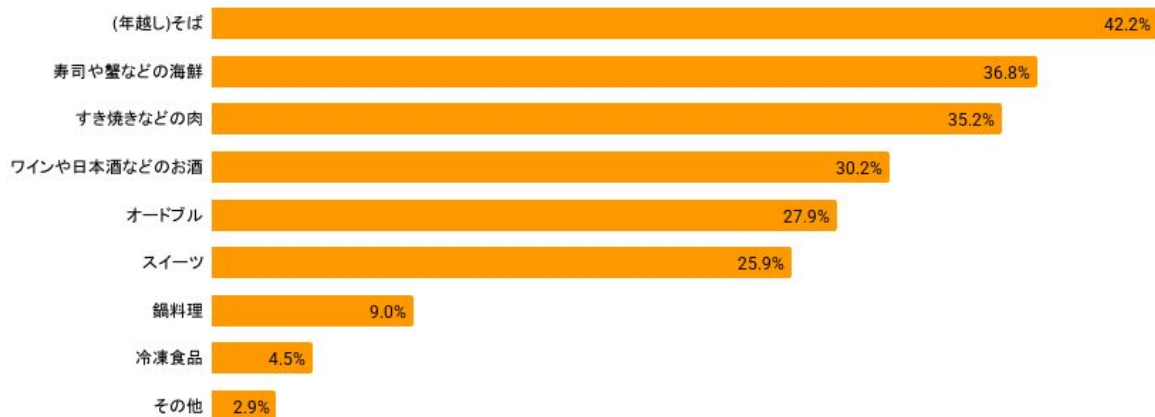
Q6.おせちを購入する際に選ぶポイントについて（複数回答）



Q7.おせちを購入する際の 카테고리について（複数回答）



Q8.おせちと一緒に買う場合、選ぶグルメは？（複数回答）



◆ おせちを選ぶポイントでは、「味」や「好きなものが入っている」ということはもちろん重視しつつも、「品数やボリューム」や「高級感・豪華さ」など、**見た目の華やかさや豪華さも重視する傾向** があることが伺える。

◆ おせちを購入する際、定番の「和風」に次いで、**21.0%が「料亭やレストラン・ホテルのおせち」と回答**、「スイーツやおせちと一緒に食べられるグルメ」を考える人もいた。

◆ **“プラス一品”**として「(年越し)そば」以外にも、「寿司や蟹などの海鮮」「すき焼きなどの肉」といった**ご馳走を買う人が多く、物価高騰の中でも家で賑やか過ごすお正月への前向きな意識** が伺える。